

今回のテーマは 「アンコンシャス・バイアス」[※] です

職員研修を開催しました！



令和6年7月3日に、ジェンダー・ハラスメント研究家の小林敦子氏による市職員研修「認知的複雑性研修(まんま見ーや)」を開催し、102名の職員が参加しました。

研修では、アンコンシャス・バイアスのレクチャーの他に、自分の気持ちと向き合う「チェックシート」と、多様性を受け入れるための「ワークシート」を使用するトレーニングを行いました。後日講師からのフィードバックがあり、研修実施によってジェンダー・ハラスメント防止への理解度が高まったとともに、性的マイノリティへの偏見が低減したことが確認されました。

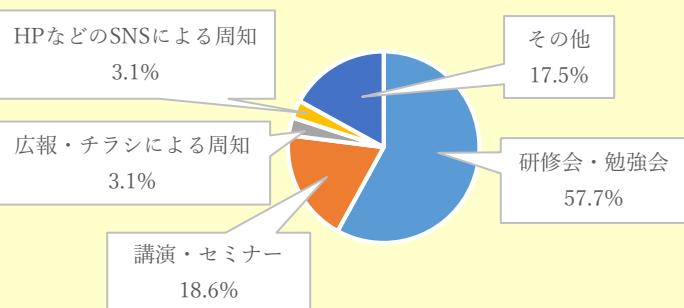
「ものごとをありのままに多面的に捉える(まんま見る)能力を培うことで、対人スキルが高まり、よりよい職場のコミュニケーションや住民対応が可能になる」と締めくくられました。

※ アンコンシャス・バイアスとは、日本語で「無意識の偏ったモノの見方」「無意識の偏見・思い込み」等を意味します。

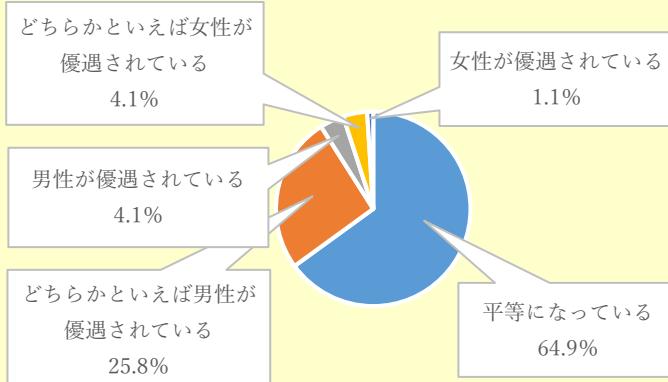


市職員 アンケート結果

「ジェンダー・ハラスメント」を無くすには、何が一番必要だと思いますか。



那須塩原市役所(職場)では、男女の地位はどの程度平等になっていると思いますか。



参加者の声

- 物、人への思い込みを無くして、そのまま観察するのはとても難しいことだと実感しました。
- これからの生活でも心掛けていきたいことだな、と改めて感じられたことがとても良かったです。
- 聞きなじみのない言葉であったがお話を聞くうえでどのようなことなのか、多面的にみる重要性などを理解することができました。
- 普段から無意識に性別をイメージして判断していることがあるなど感じた。

「マタニティハラスメント」を知っていますか？



育児休業制度を利用したことなどを理由として、職場内で嫌がらせを受けていないですか？
これらは「マタニティハラスメント」です。
心当たりのある方は会社の人事担当や、外部の相談窓口に相談しましょう。
【栃木県労働政策課 TEL028-623-3535】

第4次男女共同参画行動計画に関する 令和5年度年次報告書を作成しました。

市ホームページまたは【本】市民協働推進課で閲覧できます。

みいなバックナンバーは
こちらからどうぞ ⇒
ウェブ版もみてね！

